

獣害対策と電気柵

～大切な農作物を守り、安心して農業を続けるために～

近年、イノシシ、シカ、サル、ハクビシンなどによる農作物被害が増えています。被害を防ぐためには「侵入させないこと」が基本です。中でも効果的な対策の一つが「電気柵」の設置です。

[主な獣害の特徴]

イノシシ 	シカ 	サル 	ハクビシン 
鼻で土を掘り起こし、イモ類や根菜類を食害。力が強く柵をこわすことも。	高くジャンプする能力があり、広範囲の作物を食害。若い木の皮をはぐことも。	学習能力が高く、一度味をしめると繰り返し出没。果樹や野菜を狙う。	夜行性で、果樹や野菜を食べる。屋根裏などに住みつくことも。

被害を防ぐポイント

- ✓ 集落全体で取組むことが効果的
- ✓ 柵の設置・点検・草刈りを定期的に
- ✓ エサになる作物や残さ^{ざん}を放置しない
- ✓ 電気柵は正しく設置・管理することが重要

[効果的な電気柵のポイント]

① 囲う高さの段数

イノシシには地面から20cmと40cmの高さに2段、小動物には10～20cmおきに3段など、対策したい動物に合わせて効果的な電気柵を設置します。

② 電圧をしっかり確保

電圧は常に4,000V以上を目安にします。電圧が下がると効果が半減します。

③ 定期的な点検と草刈り

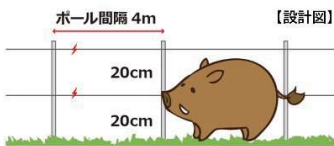
草が触れると漏電し、電圧が下がります。定期的な草刈りと見回りが重要です。

④ 出入口の管理

出入口は必ず開閉しやすいゲートを設置し、使用後はしっかりと閉めましょう。

⑤ 電源の確保

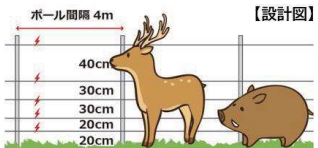
ソーラー式が便利です。日当たりの良い場所に設置しましょう。



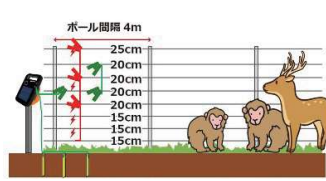
【設計図】
イノシシ対策2段張り仕様



【設計図】
小動物対策4段張り仕様



【設計図】
シカ対策5段張り仕様



【設計図】
サル対策8段張り仕様



電気さく設置手順

※写真は4段張りのイメージ画像になります

1



クリップにワイヤーを架線

2



他の段数も架線する

3



電気の流れる上下線を100mおきに接続する

4



入口にハンドルを取り付ける

5



緊張具でワイヤーの張りを調整する

[電気柵設置の注意点] ⚠

① 人が触れないように注意喚起表示を設置！

「きけん」「さわるな」などの表示板を設置しましょう。

② 専用の機器を使用！

電気柵専用の機器を使用し、家庭用電源とは絶対に接続しないでください。

③ 法令やルールを守る！

設置場所や通電時間など、地域のルールや関係法令を守りましょう。

資料提供: サージミヤワキ株式会社

JAあきがわの支援制度

JAあきがわでは、獣害対策としてサージミヤワキ株式会社の電気柵のセットや各種資材、末松電子製作所の電気柵「デンエモン」などを取り扱っています。

経済センター及び営農支援センターにて電気柵の設置に関するご相談や資材のご紹介、正組合員向けの補助制度のご案内を行っておりますので、是非ご利用ください。